

2020年2月10日付、
プロパンブタンニュース紙面より抜粋

体育館空調にGHPを

埼玉県協提案ソフト研修会

埼玉県LPガス協会 化学新聞社LPガス局GA
(清水宏之介会長)は1月17日、さいたま市の県協会本部で「学校・体育館へのGHP提案書作成」を講師に、同社の「学校作成ソフト」とGHPコ

誌「GAS21」を教材に講演した。

提案書作成ソフトは、土屋氏がGHPメーカーやガス会社で培った知見を基に作成した。入力作業シートに数値を入力するだけで、学校体育館用のGHP一次提案書が容易に作成できる。多数のGHPの設置と提案を手

掛けてきた土屋氏の経験から、設備費や工事費など数値データの信頼性が高い。メーカーを横断したデータを用い、LPガ

ス仕様GHPとEHPPのインシアルとランニングを含めた経済比較ができる。加えて投資回収年数の明確化やグラフを用いたコストメリットの明示もできる。

土屋氏は空調負荷の計算や空調機の選定、設置時の要点、工事価格の内訳などソフト利用時の設定を詳説し、同じ環境下でのGHPのEHPPに対する優位性を示した。

「一次提案書として活用し、現地調査やメーカー



参加者は真剣な様子で聴講した

と連携した見
積みなど第2
ステップへつ
なげてほしいと求めた。
参加者は真剣な様子で聴講。質疑応答では設置環境や都市ガスとの競合に関する質問が上がり、意見が交わされた。